

な るほど その29 本願寺

本願寺 恒例法要と行事 11月

『全国門徒総追悼法要(秋の法要)』

・法要日時: 11月22日(金曜日)・23日(土曜日)

・法要場所: 本願寺阿弥陀堂



参加者全員での音楽礼拝から始まる本願寺音御堂

本願寺音御堂は、日頃より仏教讃歌に親しむ門信徒の方々が本山に集い、行われる合唱大会です。日々の練習の成果を発揮する機会であるとともに、お御堂において、ご本尊に向かって合唱する、仏徳讃嘆の催しとなっています。

本山における合唱大会は、1989年、全国門徒総追悼法要(秋の法要)にて行われる布教大会の一環としてはじまり、1993年からは「御堂演奏会」の名で親しまれてきました。その後、参加者の増加に伴って独立した行事となり、2009年からは、立教開宗記念法要(春の法要)期間中2日間と、秋の法要期間中2日間、計4日間開催しています。

そして、第25代専如ご門主へのお代替わりを機に、2017年、御堂演奏会は「本願寺音御堂」と改称しました。「音御堂」は、仏徳を讃嘆する歌声がお堂全体に響きわたり、満ち満ちるさまを表します。その名のとおり、仏教讃歌を通しておみのりを喜ぶ方々の歌声、仏さまをお讃えする思いが一つになる合唱大会です。

住職レター

例年この時期に作成しております、来年の法要日程案内を兼ねた善教寺パンフレット、ようやく完成しました。納骨堂・御経堂・鐘楼堂の写真をリニューアルしたこと、気付いてもらえたら嬉しいですよ。そして表紙の写真は、親鸞聖人像(昭和四十九年建立)の

迫力ある写真を使いました。この写真、一つの拘りがあります。親鸞聖人の御顔もとに、光が射している瞬間を撮影しました。朝日が昇る、そのわずかな時間に撮った写真です。数日間、ベストなタイミングを見計らった瞬間です。善教寺へお参りされた時、この親鸞聖人像のご尊顔を覗き込むようにして、ご参拝なさって下さい。

そして令和二年の『今年のことば』は「愛別離苦」と致しました。今年は「諸行無常」、昨年は「南無阿弥陀仏」、昨年は「浄縁」でした。

「愛別離苦」は「愛する人やものと離別する苦しみと辛さ」を表す言葉。この世に生まれた者なら、いつかは通らなければ

ならない「生別や死別での苦しみ」を意味します。「愛別離苦」の痛みは計り知れず、おそらく精神的な観点から見れば、最も心がやせ細ってしまう「苦しみ」であるのかもしれない。

しかし、「愛別離苦」が生きる者すべてが背負う自然の道理であるならば、今生きているという瞬間に感謝し、今を生

きることを大切に

にして頂けたら

と思い、令和二年の『今年のことば』と致しました。



令和二年 善教寺法要案内
パンフレットの表紙写真